



2026年2月17日

日本鉄道労働組合連合会

## JR九州労組第38回定期中央委員会

# 継続的な賃上げと安心して働き続けられる労働条件を

### ペア 15,000 円を含む月例賃金総額 6% 以上を要求へ

J R 九州労組は、2月 6 日、福岡市内で第 38 回定期中央委員会を開催し、2026 春季生活闘争をはじめとする当面の活動方針を確立した。

執行部を代表して挨拶を行った吉田祥司中央執行委員長（J R 連合副会長）は、「安全」と「組織強化・活性化と拡大」について昨今の情勢を踏まえて提起したのち、今次春闘について「J R 九州の持続的発展には人財の確保・定着と採用競争力の強化が不可欠であり、組織全体で春闘を盛り上げていこう」と呼びかけた。

続いて、J R 連合の上村良成会長は、春闘の取り組みに加えて労働基準関係法制の見直しの動きや新幹線の貸付料にかかる議論について J R 連合の見解を踏まえて挨拶を行った。その後、第 51 回衆議院議員選挙で J R 連合が推薦している丸尾圭祐候補（J R 連合「21 世紀の鉄道を考える議員フォーラム」所属）が駆け付けて挨拶を行い、稻富修二候補（同）からは動画メッセージによる挨拶があった。

議事では、執行部から「12,000 円（J R 連合統一要求）+3,000 円（J R 九州労組上積み分）の純ペア要求」「夏季手当 3.0 カ月分要求」を軸とする当面の活動方針が提起された。質疑では、12 名の中央委員が発言し、活動方針を補強。

大久保浩書記長からの集約答弁がなされた後、すべての議案が満場一致で採択された。

J R 連合は、加盟単組とともに「ONE TEAM で 今年も 賃上げ！」の実現に向け取り組んでいく。



吉田中央執行委員長



J R 連合上村会長



心合わせの団結頑張ろう